

# 原発安全協定で質問状

## 松江市長へ鳥取の4団体

中国電力島根原発3号機の新規稼働に反対する  
鳥取県の四つの市民団



市の担当者④に質問状を  
手渡す山中共同代表

体が31日、立地自治体の松江市の松浦正敬市長に対し、安全協定など原発を巡る考え方を問う9項目の質問状を出した。

松浦市長の7月9日と8月8日の記者会見の発言をたぐす内容。原発30キロ圏の周辺自治体が求める、原発の重要な変更に関する事前了解を規定した立地自治体同様の安全協定を

巡っては、松浦市長の否定的な発言を取り上げて「安全協定が同一になることで、立地自治体にとっての不都合はどのような点か」などと問うている。

回答期限は9月14日に設定。松江市役所で担当者へ質問状を手渡した「えねみら・とつとり」の山中幸子共同代表(58)＝鳥取市＝は「いざ事故が起きれば避難先としても周辺自治体は影響を受ける。みんな考えてないといけない問題だ」と話した。(口元博矢)